

# コールドチェーン物流の 展開促進に資する取組について

国際規格を活用した海外物流市場の健全な発展の促進

令和2年11月27日

ヤマトホールディングス株式会社

# 1. 基本的な考え方

## 目的：ISO 23412を起点とした海外物流市場の健全な発展

- 輸送品質の重要性に対する社会全体の意識の向上
- 各国政府を通じた国家規格化と各種制度への反映

ISO 23412	小口保冷配送サービスに関する国際規格
日本における社会実装	✓ 1988年に保冷宅配便サービス「クール宅急便」が販売開始。以降、物流事業者により保冷宅配便が展開され、社会実装に至った
↓	
ルール策定、普及促進	✓ 物流事業者、関連団体や荷主、有識者等により、保冷宅配便サービスのサービス提供に関する要求事項を規定するPAS 1018を策定。英国規格協会（BSI）より発行。
海外社会への実装	✓ 国交省、経産省をはじめ、オールジャパン体制で国際標準化を推進。2020年5月28日にISO 23412として発行。

### ISO 23412の利活用が促進される環境



## 2. ISO 23412の概要

### ISO 23412の概要

正式名称 : ISO 23412:2020 Indirect, temperature-controlled refrigerated delivery services – land transport of parcels with intermediate transfer

「保冷荷物の**陸上輸送**における**積替を伴う**保冷配送サービスの提供及び運用のための要求事項について規定し、保冷配送サービスの**全ての段階を含む。**」

規格	物流サービスの規格			食品の規格
主目的	車両の保冷荷室の温度管理 (※)			食品自体の温度
輸送形式	2地点間の直接輸送	途中で積替えを伴う輸送	荷物を専用容器と保冷剤で梱包	
例	貸切輸送	路線便・宅配便	熱保護梱包輸送	

※「保冷荷室」には、移動式/固定式保冷庫や断熱コンテナ等も含まれる

### 主な要求事項

- ・ 輸送ネットワークの構築
- ・ 保冷荷物の取り扱い
- ・ 事業所、保冷車両、保冷庫、冷却剤の条件
- ・ 作業指示書とマニュアル
- ・ スタッフへの教育訓練
- ・ 保冷配送サービスの監視と改善

## 3. COCN（産業競争力懇談会）とは

### ■ 概要

- HP : <http://www.cocn.jp/>
- 会員企業 : 38社
- 国の持続的発展の基盤となる産業競争力の強化、科学技術の推進、イノベーションの創出に関わる政策を、産学官の対話と連携を重視しながら提言としてとりまとめ、実現をはかる活動を行っている一般社団法人
- 産業界の立場から、日本の産業競争力強化に資する110件を超えるプロジェクトを検討し、国に対して提言してきた

### ■ 推進テーマ活動

- 目的 :  
「推進テーマ活動はC O C Nの事業の中核をなす活動です。会の目的につながる具体的な分野で、ありたい姿（ビジョン）を共有するメンバーがプロジェクトを組成し、実現に向けた課題の解決を検討し、研究開発や事業化のシナリオとロードマップを描き、産学官の役割分担を明確にした提言を行って、自らもそれを推進します。」
- 2020年度テーマの1つとして「国際規格を活用した海外物流市場の健全な発展の促進」が採用
- 現在、中間報告が公開中 : <http://www.cocn.jp/report/>

## 4. COCNでの活動概要

### 目標：ISO 23412の利活用が海外で推進されること

メンバー オイシックス・ラ・大地、ニチレイロジグループ、農林中央金庫、三菱総合研究所  
旭化成、IHI、沖電気、大日本印刷、日本フルーフ、農研機構、三菱電機、パナソニック

コストを優先した  
市場構造

規格に関する  
認知度不足

物流事業者が  
規格を取得する  
環境が未整備

#### 輸送品質の重要性に 対する社会全体の 意識の向上

- 利用者に対する本規格の認知度向上
- 本規格の取引基準化の働きかけ

#### 各国政府を通じた 国家規格化と 各種制度への反映

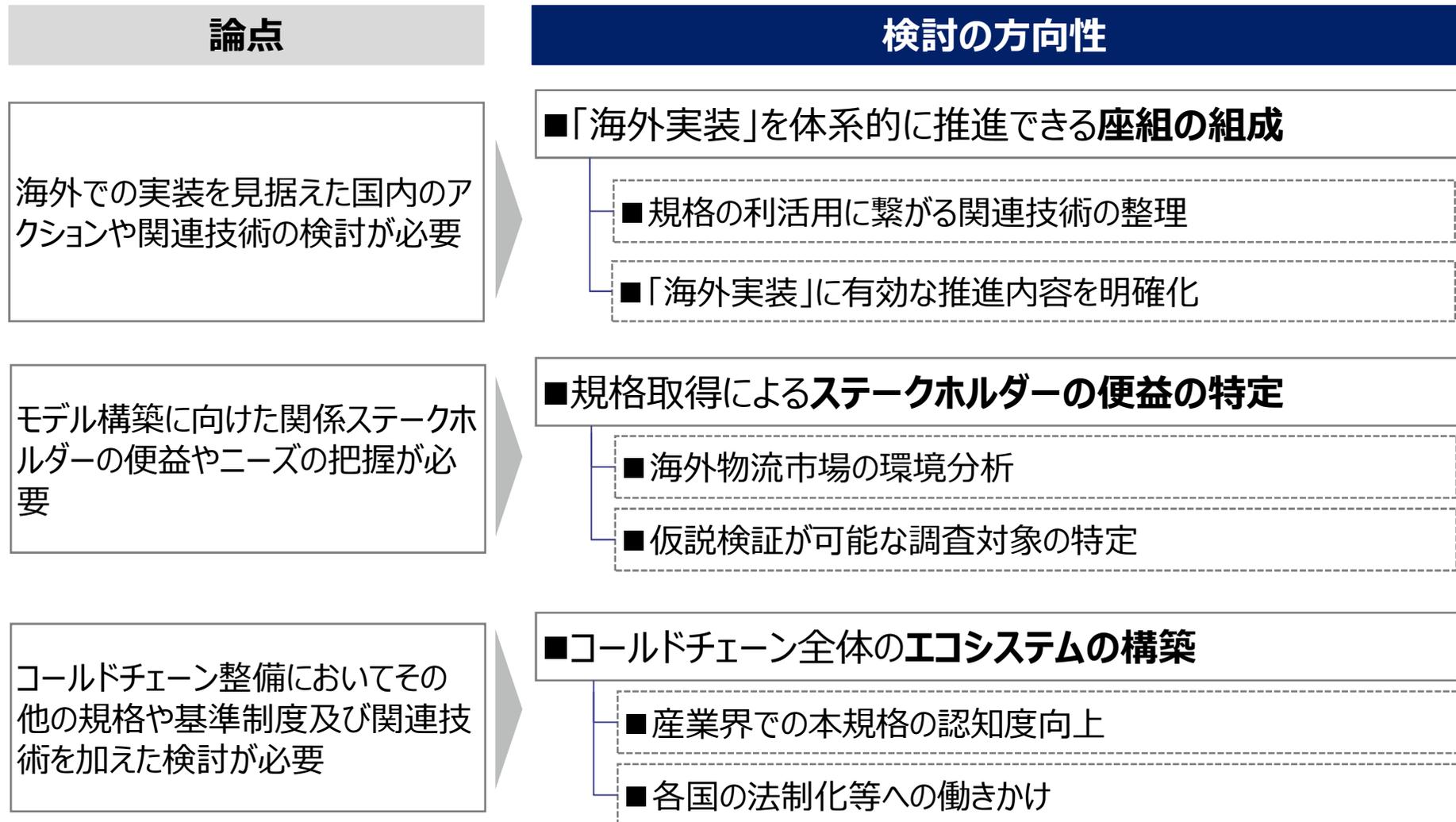
- 物流事業者に対する本規格の認証取得推奨
- 認証体制の整備

#### コールドチェーンの 価値・機能向上

- 本規格に対応した一定の品質基準を資機材＋システムで解決する提案
- 小口保冷輸送が含まれるコールドチェーンの価値・機能向上を図る提案

海外実装について、実行性を高めるための**推進体制**や**実施内容を明確化**し、**推進体制の具体化**を官民で進める

## 5. これまでの論点と方向性



上記の論点に対して検討を進め、**ISO 23412の海外での実装および利活用**が図れる環境を構築していく

## 6. 推進内容と各省庁への要請事項

### 推進内容

産業界	<p>コールドチェーンの価値・機能向上を通じて、関連ステークホルダーのエコシステムを構築する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・海外物流の改善に繋がるモデルケースの具体化</li><li>・技術面の提案を含めた改善手段の具体化</li><li>・今後の推進体制</li></ul>
-----	--

### ご協力いただきたい内容

各省庁	経産省	<ul style="list-style-type: none"><li>・関連法制度の調査</li><li>・本規格の普及における可能性（対象、形式など）の特定</li><li>・海外における本規格の認証基盤整備</li></ul>
	国交省	<ul style="list-style-type: none"><li>・活用可能な支援の内容、今後継続的な官民一体の推進体制の構築</li><li>・本規格以外の物流分野との連動</li></ul>
	農水省	<ul style="list-style-type: none"><li>・本プロジェクトのモデル構築において海外市場の需要調査</li><li>・本規格の活用と海外輸出におけるコールドチェーン整備に関連する取り組みとの連動</li></ul>

海外物流市場の健全な発展が、広く日本の産業競争力の強化に繋がるよう、産業界と各省庁が一体となり推進を図っていきたい